



遊歩道から望む浦富海岸は絶景そのもの

鳥取に、野趣あふれる絶景あり

ゲゲゲのふるさと・境港に、白兎(はくと)伝説ゆかりの地・因幡。鳥取県の数ある見どころの中でも、新たな名所として注目を集めているのが、浦富(うらとみ)海岸を中心とした県東部の自然景観。「山陰海岸ジオパーク」の二部でもあるこのエリアの魅力とは…。



山陰海岸ジオパークとは？

「ジオパーク」とは、地質学的に重要で貴重な地質や美しい景観を持つ自然公園のことで、「山陰海岸ジオパーク」と呼ばれるのは、鳥取・兵庫・京都にまたがる東西約110kmです。昨秋にはユネスコが支援する「世界ジオパークネットワーク」に加盟認定、鳥取県では浦富海岸や鳥取砂丘を中心に「ジオサイト」があります。



つくど立つ「千貫松島」。「山陰海岸学習館」はジオパークの魅力豊富な資料と映像で展示、7000年前の石に触れたりできる体験コーナーが人気です。またイチゴ狩り農園もあり、そのイチゴを使ったロールケーキは県内で話題になりつつあるとか。

鳥取の旅に欠かせない温泉は、1200年の歴史を誇る源泉かけ流しの「岩井温泉」へ。旅情をそそる木造の湯宿が軒を連ね、古き良き街並みを残しています。

山陰きつての自然景観

複雑な曲線を描くリアス式の海岸線に、鮮やかな緑の木々を茂らせた岩壁。沖合には切り立った大小の島々。日本の荒波と風雪が彫り上げた「浦富海岸」(岩美町)は、山陰海岸ジオパークの中でも特に明美で、鳥取県を代表する観光スポットです。

水深の透明度、間近に迫る岩肌の造形美…。約40分の船旅は文字通り驚きと感動を与えてくれます。乗り場の網代港には、特産品の売店や日本海の幸を使った海鮮丼も味わえる食事どころも。名物のイカが天日干しにされた堤防も港町ならではの風景。陸からなら、同町内5カ所でも乗り捨て可能な電動アシスト付きレンタルサイクルか、約3・5kmにわたり整備された遊歩道の利用がお勧め。静けさを保っていたと思ったら緩やかな風がほおをなでる、そんな好まじき意外性も心地良く感じるでしょう。

海岸の周辺にも注目

浦富海岸の周辺(岩美町内)も、観光スポットが充実している

鳥取砂丘の楽しみ深まる

ご存じ鳥取砂丘も、ジオパークの一つです。「鳥取砂丘ジオパークセンター」では、日本最大の観光砂丘の自然や生い立ちを紹介しています。例えば、県観光政策課の安藤和也さんが教えてくれた、「砂丘の古い層と新しい層の間に火山灰がある」。地球規模の変化を知れば、刻々と変わる砂の芸術がより深く楽しめそう。今春のトピックとして、風紋や砂れんを人工的に作って見せる装置が登場したこと

アクセス

車で：宮IC(名神高速道路)→中国道→佐用JCT→鳥取自動車道(無料)→鳥取市街

電車：JR名古屋(新幹線)→JR姫路(智頭急行)→スーパードライバー(約3時間30分)



鳥取砂丘ジオパークセンターで、砂を使って体験学習



鳥取砂丘が形成され始めたのは約10万年以上前とか



網代港の食事どころ「あじろや」の海鮮丼(1350円)



遊歩道から見た千貫松島。右上の遊覧船からは表情が違う？

遊覧船から見た千貫松島の眺め



岩井温泉「明石屋」の露天風呂



網代港の名物の一つ「イカスミンソフト」(250円)



リニューアルしたばかりの山陰海岸学習館



遊覧船では、海鳥にエサやりができる



遊歩道から菜種五島を望む

問い合わせ 鳥取県観光政策課(電話0857・26・7637)、岩美町観光協会(電話0857・72・3481) 鳥取県観光情報 || <http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>